

エコシステム形成推進主体（協議会）での成果

○エコシステム協議会内での連携した取組事例

Kyoto Innovation Base(KIB)



起業家が起業家を生み育てる環境を京都で実現! 上場起業家の経験から学ぶ
アクセラレータプログラムを 令和3年11月から原則、毎月開催

・主 体 E O 京都、京都知恵産業創造の森、京都商工会議所、京都銀行

・内 容 :

①先輩ベンチャー経営者による若手ベンチャー経営者へのメンタリング【月例会】

②若手ベンチャー経営者同士のコミュニティ形成【フォーラム】

異業種の経営者同士の情報を共有するなど気軽に相談しあえるコミュニティー

③対 象 : 年商 1 億円未満の成長意欲がある京都府内の若手ベンチャー経営者

④受講者 : 若手経営者15名 (R 3 年度)

日 時	講 師
11月18日 18時～	(株)シフト 丹下 大代表取締役
12月16日 18時～	(株)ベシス 吉村 公孝 代表取締役
1月27日 18時～	(株)寺田倉庫 寺田 航平 代表取締役
3月24日 18時～	(株)PRTIMES 山口 拓己 代表取締役



Re:Vive -Dweb- Conference 2022@KYOTO

関西のU29アクセラRe:Viveが主催する新たな産業潮流「WEB3」のカンファレンス。京都だけでなく、全国からWEB3ビジネスを展開する起業家等が京都に！

京都府・京都市をはじめ、京都知恵産業創造の森、京都信用金庫、京都リサーチパークが開催に当たり、強力にバックアップ！



大学発ベンチャーの創出について

地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

■「京大モデル」

エコサイクル／産学連携バリューチェーン

京大オリジナル(株)、(株)TLO京都、京都大学イノベーションキャピタル(株)、京都大学産官学連携本部、京都大学オープンイノベーション機構が有機的に連携する「京大モデル」により、京都大学の「知」を社会につなげ、「価値」の最大化、「収益」の還元を行いながら、イノベーションの創出に取り組んでいます。



■京大式ベンチャー支援体制

子会社京都iCAPは主に公的資金（一部民間資金あり）を、京大認定ファンドは民間資金を、それぞれ運用し、相互に協調・補完して京大発ベンチャーを育成するエコシステムを構築しています。

【現在運用中のファンド】

- ・京都iCAP 1・2号ファンド
- ・日本ベンチャーキャピタル 認定1・2号ファンド
- ・みやこキャピタル 認定1・2号ファンド
- ・創業者応援ファンド

■ブレインキュベーション事業

・GAPファンド（1,000万円/年）

研究成果の実用性を検証するための研究課題に対し支援を行い、研究成果の事業化を推進しています。

2021年度から、JST事業（STARTスタートアップ・エコシステム形成支援）に、京阪神連携プラットフォーム（京阪神スタートアップアカデミア・コアリション）が採択され、その資金を活用し、京阪神の大学で連携してGAPファンドを運営しています。

2021年度は、プラットフォーム全体で55件の応募があり、うち26件を採択しました。（京都大学は4件）

・ベンチャーインキュベーションセンター

京都大学の研究成果の事業化を行う「スタートアップ企業」または「起業予定の個人」を対象としたオフィススペースをレンタルしています。

■取組の成果（近年のベンチャー創出数）

大学名	2019年度		2020年度		2021年度	
	企業数	順位	企業数	順位	企業数	順位
東京大学	268	1	323	1	329	1
京都大学	191	2	222	2	242	2
大阪大学	141	3	168	3	180	3
筑波大学	114	6	146	4	178	4
慶應義塾大学	85	8	90	10	175	5

出典：令和3年度産業技術調査（大学発ベンチャー実態等調査）報告書

大学発ベンチャーの創出について

地域の大学における起業家教育の取組

■ 京都大学産官学連携本部・IMS研究部門が実施・展開する教育プログラム

- ・ 受講者の起業に対するコミットメントのレベルに応じ、難易度別にコースを設定し、エントリーレベルから、実際のローンチまでをカバー。
- ・ 知識の伝達よりもPBL（Project Based Learning）を重視。
- ・ プログラム全体を通じて、Autonomy（参加者の自立性、主体的参加）、Relatedness（社会との関係性、有用性）、Competence（価値ある研究成果の活用、世界に通用するビジネス）の3点を重視。

カテゴリー	コース内容
（１）アクセラレーション	メンタリング・コーチングによりVCからの資金調達を支援する「GTEPカタパルト」
（２）事業創出PBL	「技術イノベーション事業化コース」（東京・京都開催） 学生、院生、社会人、研究者等を対象
（３）大学院共通教育	「アントレプレナーシップ入門」、「アントレプレナーシップ演習」、 「知的財産」
（４）全学共通科目	「イノベーションと経済社会」（ILASセミナー）
（５）エントリー	「起業と事業創造」、「ベンチャー経営論」、「キャリアセミナー@京都」
（６）高大接続プログラム	ELCAS「ミライを創る講座」
（７）連携授業	AI、デザイン思考等、海外機関と連携して提供する不定期の集中講義（１週間程度）。
（８）事業化プラットフォーム	KUEP（Kyoto University Entrepreneur Platform）デジタル・ファブリケーション ツールを活用したプロトタイピング、各種ミートアップの実施、学生の自主的な活動支援

大学発ベンチャーの創出数

「ベンチャー創出支援」

京大発スタートアップにチャレンジする研究者とビジネスパーソンが出会う場
京都大学の研究者とエンジニア、ビジネスパーソンを結びつけ、京大研究シーズの事業化を目指すプラットフォーム

Entrepreneur Candidate Club (ECC-iCAP)

科学のフロントランナーが語る未来世界。京大技術で起業チャレンジ！

京大発スタートアップにチャレンジする研究者とビジネスパーソンが出会う場所を提供。京都大学の研究者とエンジニア、ビジネスパーソンを結びつけ、京大研究シーズの事業化を目指すためのプラットフォーム。

人材ニーズにも応えるべく職業紹介業認可を取得。

入会対象：

スタートアップへの参画を考える個人で、以下の方

- ・アカデミアでの研究経験を有するポスドク/博士課程学生
- ・大企業の枠を飛び出したい企業研究者
- ・事業開発/経営企画/知財/戦略コンサル等の実務経験を持つ者
(京都大学出身者以外も歓迎)

活動内容

- ・マッチングやクローズド・ピッチイベント開催とWeb配信
- ・起業につながるテクノロジーシーズのご紹介
- ・メンタリングと会社設立の支援
- ・経営人材の探索

現況：

会員数

475名 (2022年6月末日現在)

ECC-iCAPイベントでの
プレゼン後に起業したシーズ

19件

うち、ECC-iCAP会員が参画して起業
したVB

6社

※京都大学イノベーションキャピタル(株)が運営

大学発ベンチャーの創出数

・ECC-iCAP仕組み

